

【経営発達支援計画事業実施報告書】

1. 評価委員会開催日時 令和4年5月18日(水) 15時55分～16時50分
2. 評価委員会開催場所 久万高原町産業文化会館 研修室
3. 評価委員 9人(委員長1人、副委員長1人、委員7人)
4. 承認 本会理事会承認なし
5. 実施結果・評価

(1) 評価の基準

- A 目標を十分達成している(100%以上)
- B 目標を概ね達成している(80～99%)
- C 目標を半分程度しか達成できていない、どちらかというとな達成できていない(30～79%)
- D 目標を全く達成できていない(30%未満)

(2) 評価

分類	事業内容	実施項目	年度目標	実施結果	実施項目評価	事業項目評価
経営発達支援事業の内容	1. 地域の経済動向調査に関する事 【指針③】	商工業者景気動向調査	2	1	C	C
		HPによる広報	2	1	C	
		チラシによる広報	2	0	D	
		金融機関と連携した景気動向調査	1	1	A	
		HPによる広報	1	1	A	
		チラシによる広報	1	0	D	
		中小企業白書等の分析による景気動向調査	1	1	A	
		HPによる広報	1	1	A	
	チラシによる広報	1	0	D		
	2. 経営状況の分析に関する事 【指針①】	経営分析事業者数	11	25	A	A
3. 事業計画策定支援に関する事 【指針②】	事業計画策定件数	4	22	A	C	
	創業希望者事業策定	2	0	D		
	第二創業計画策定	2	0	D		
	事業承継計画策定	2	2	A		
4. 事業計画策定後の実施支援に関する事 【指針②】	フォローアップ対象事業者数	10	18	A	C	
	既存事業者に対する支援(1事業者3回、4ヶ月毎)	12	100	A		
	創業者に対する支援(1事業7回)	14	0	D		
	第二創業者に対する支援(1事業7回)	14	0	D		
	事業承継先に対する支援(1事業者3回、4ヶ月毎)	6	4	C		
5. 需要動向調査に関する事 【指針③】	特産品の需要動向調査事業所数	4	2	C	C	
	アンケート回収数	120	122	A		
	調査結果の情報提供事業者数	4	2	C		
	テストマーケティング調査事業所数	2	0	D		
	アンケート回収数	60	0	D		
	調査結果の情報提供事業者数	2	0	D		
経営発達支援事業の内容	6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事 【指針4】	セミナーの開催	1	0	D	D
		セミナー参加者数	5	0	D	
		すご味への登録	1	0	D	
		すごものへの登録	1	0	D	
		商談会への参加	2	0	D	
		上記売り上げ目標	1社 前期比約10%増	0	D	
		松山圏域中小企業販路開拓市展示会出展指導社数	4	2	C	
		松山圏域中小企業販路開拓市展示会・商談会への参加	2	0	D	
		松山圏域中小企業販路開拓市商談件数	2	0	D	
		松山圏域中小企業販路開拓市成約件数	1	0	D	
		上記売り上げ目標	1社 前期比約10%増	0	D	
SNS利用社数	5	0	D			
上記売り上げ目標	1社 前期比約10%増	0	D			

地域経済の活性化に資する取組	7. 地域経済の活性化に資する取組	農業振興「6次産業化、付加価値の向上」	—	0	D	D
		林業振興「雇用環境の整備」	—	0	D	
		商工業環境の整備「ICT環境整備」	—	0	D	
		「道の駅 天空の郷さんさん」を起点とした観光振興	—	0	D	
経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み	8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	他の商工会	4~5	1	D	D
		株式会社日本政策金融公庫	1以上	4	A	
		他の公的支援機関等 ・愛媛県商工会連合会 ・中小企業基盤整備機構 ・えひめ産業振興財団 ・愛媛県よろず支援拠点 ・事業引継ぎ支援センター	随時	3	B	
		予土隣接商工会交流会	1	0	D	
	9. 経営指導員等の資質向上等に関する事	OJTの実施	—	14	A	B
		OFF-JTの実施	1以上	6	A	
		支援ノウハウや支援状況の組織内での共有	—	0	D	
		WEB研修の積極的受講	—	2	A	
	10. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事	毎年度、本計画に記載する事業の実施状況及び成果についての評価・検証・計画の見直し	—	なし	D	D
		結果の理事会承認、総代会報告	—	なし	D	
結果のHP公表		—	なし	D		
中小企業診断士との計画修正、委員会での年度更新		—	なし	D		

### 【評価委員による評価・意見など】

物産展にも出展させてもらい、パッケージも補助金を活用して開発し販売も拡大した。商工会が支援活動はしているけど、深く広く実施したことが伝わっていないと思われる。興味を持つような取り組みや周知が必要である。

実績数値については報告数値の説明を聞いて特にはないが、コロナの影響で取り組みができる項目とできなかった項目や影響があるものと関係がないものを区分けすると分かりやすいかもしれない。

とても達成できないような数値目標だと思っていたが、計画の認定を取るためには致し方ないという事であったので、できるだけ支援実績の数値は伸ばして欲しい。

数値結果については特に意見は無いが、会員でも商工会が何をしてくれるのだろう・何ができるかが分かっていないと思うので、相談があれば商工会に来てもらう・行くというような文書でも出して気軽に相談が出来るようにしたら良いと思う。補助金があってもどういう時に使えるのか、職員さんも誰がいるかも良く分かっていないので、職員の紹介やこの相談はどの職員に問い合わせたらよいかなどを周知したら良いと思う。自分たちは役員をしていて少し分かっているから連絡等をするが、相談しにくい・事務所に入りづらいと思われると思う。

できるだけ地域に出向いて出て行くように努めている。地域住民から商工会の顔が見えないとの声を聞き、町と同じように商工会も地域に出向いて会員と共に歩み寄って行くようにして地域が活性化されれば良いと思う。

目標の立て方や数値については捉え方にも依ると思うので、今回の実績数値が一概にも正しいとは思わない。そして商工会の弁護をするわけではないが、商工会の顔が見えないとの意見に対しては、商工会が必要としない(税理士関与先)・必要でない(商工業以外)方達も多いものと思われる。また、金融相談内容や企業情報に関しては公表されたくない事象があるため、実績に伴っていないとも考えられる。